

FOR ADULT



Ave Maris Stella 2

フフフ…

逃げてても無駄よ
セーラーマーキユリー
!

何故なの
……?

はっ

何故今になってまた
ピリユイが襲ってくるの
……?!

あっ…
!

彼女は自分の
ナノマシンの暴走で
消滅したはずなのに……!

教えてあげるわ
セーラー
マーキュリー…

肉体の再構築なんて
何度でも可能なのよ

私の消滅はいわば
バグが引き起こした
偽りの死……

くっ…

さあ…私の
ナノロボットで今度は
あなたの身体を
分解してあげるわ

後に残るのは
あなたの美しい魂
ピュアな心だけ…

ハハハ！



いい表情するじゃない
ただ分解するには
惜しい身体ね...

キョム...



えっ?
あっ!



気に入ったわ♥

キョム...



こんな風にされるの
...初めてなのね?

やっ...
はんっ...

すごく敏感
.....♥

あーっ...

キョム...



いつも自分で
ここを触ってるのね？
いやらしい子…♥

見かけによらず
淫乱ね……

ふう……っ

んーっ…

いやあつ……
言わないで
……っ！

いいわ……
一度イキなさい

後で膣内の方も
たっぶり可愛がって
あげるから…♥

きもち……いい
……っ！

私の
戦う力が
吸い取られていく
……

もう
身体が言うことを
きいてくれない…





ディープ
サブマージ
!!



ああ——っ
……



……
セーラー
ネプチューン……

セーラー
マーキョリー…
!

ナノマシンの攻撃を
まともに受けているわ

ありがとう
……

分解のレベルが
精神にまで
達しかけている…

彼女の中に注入された
邪悪な「気」を
浄化しなければ…!

このままだと
危険だわ

どうして
「気」が…?

質問するのは
私の方…

何故ひとりで
戦ったりしたの？
勝てる保証はないし
あまりにも危険だわ
…解っていたはずよ

ええ……でも
彼女との戦いには
誰も巻き込みたく
なかったんです

謝らなくていいわ
私にあなたを
責める資格なんて
ないもの

えっ……？

ごめんなさい

だって私たちは前世で
同じ水の世界に
居たんですもの

不思議な感じ
……

胸騒ぎを感じて……
私だって思わず
ひとりでここへ
来てしまったから……

似ているかも
しれないわね
……私たち

あなたは
覚えていないかも
知れないけれど……

まるで
感覚の深い所で
会話しているような
……



私に見せて
……



あら…
怪我をしているの
？

あ…っ
！



…血が
出てるわ

あ…あの、
大丈夫…です
……っ！

す
……



や…っ
ダメです…

離して下さい
お願い…っ！





苦しいんでしょう？
セーラーマーキュリー
…分かってるのよ

あっ……

あふっ……

あなたの中で
くすぶっている火を
私が鎮めてあげる…



んんっ…

ああ……っ

もうこんなに
溢れさせて…
すごく敏感に
なってるのね



そう……
気持ちいいのね？

その感覚に
あなたの全てを
委ねるの……

ふあ……っ
あつ……！

あ……
あは……

ふる……

く……
あ……

そうすれば
楽になれるわ……

あ……





いい度胸ね
こんな所で
お楽しみなんて



ピリユイ
あなた？！

くっ…

あれくらいで私を
倒せると思ったら
大間違いよ！

私の力を
侮ったこと…
後悔させてあげるわ
！



モザイク
バスター
!!!

…！

あーっ…!!



ぎゃあっ…!!

セーラーネプチューン
あなたを分解する前に
最高の苦痛を
味わってもらおう事にするわ

死の直前にあなたが受けた
究極の感覚は
ピュアな心の純度を
更に高めるの





さあ苦しみなさい
セーラーネプチューン
今はまだ殺さないわ

最後にゆっくり
分解して…
あなたの身体を
消してあげるわ！



私もし…居なくなったら？



分解…?!

あのナノマシーンに
かけられたら
私は間違いなく消滅する…！

私は…
こんな所で
死ぬ訳にはいかない

使命のためにも
……

あ……っ……

あら…
こんな時に
考え事？

ほら
もっとうい顔
見せて「らんなさいよ

あ……

うああ……
?!

キャムキャムッ

苦しいでしょう？
苦痛と快楽を
一度に味わうのは…

せいぜい正気を
手放さないように
するのね！

らちあめっ

あ

うん

ダメ…
このままでは

どうにかなって
しまいそう…

セーラー
マーキュリー
……

聞こえる
？

セーラー
ネプチューン
？

また
さっきと同じ感覚…

精神のとても
深いところに
呼びかけられている
……

ごめんなさい
……

あなたには却って
辛い思いを
させてしまったわ
……

そんな
……

私もうダメです
動けません……
あなただけでも
逃げて下さい……!

あきらめないで！
呪縛を解いて
動けるようになる方法が
まだ残っているわ

さっきの続き……
自分で
してごらん下さい

えっ……？!

そうすれば
あなたの中に注入された
邪悪な気を浄化できる
……元に戻るはずよ

そんな……
わたし
できません……

そんな恥ずかしいこと
セーラーネプチューンが
見ている前で……

すみません……
許して下さい……

あなたが動ければ
二人で戦えるわ

私と一緒に帰るか
それとも消滅するか……
好きな方を選びなさい！


……
分かりました
……

お願いです
あまり
見ないで下さい
……




あら
セーラーマーキュリー……
おとなしいと思ったら
ひとりでそんなコト
していたのね？

本当にいやらしい子……
いい見世物になるわね



セーラーネプチューン！
あなたには他人を
見物する余裕なんて
ないはずよ！



さあイキなさい…
私の与える苦痛と恐怖で
そのピュアな心を
解放するのよ…！



ハイハイ

もうダメ……

でもチャンスは
今しかない……

ほらっ
イクのよー
セーラーネブチューン



あ……

セーラーネブチューン……
あんなに溢れている……

ああ……
……♡



ダメ……
もう何も……
考えられない……

はあ……



ああ……
イクううう……

極限に達した
この感覚を通して...

ああ

私の戦士の力を
ピリユイの中へ



あなたが私に
しようとしていた事を
そのままお返しただけよ

あまり美しい戦い方とは
云えないけれど...
あなたにはこれで十分ね



さあ…
覚悟しなさい
ピリユイ!!

セーラー
マーキュリー
?!

科学の悪用を企む
あなたの心は
間違っているわ!

あなたのプログラムは
私が破壊します

シャインアクア
イリユージョン
!!



ディープ
サブマージ
!!



うあああ
!!



セーラー
マーキュリー
.....?
?



ごめんなさい…
!

私…
この戦いには誰も
巻き込みたくはないなんて
云っていたくせに…



結局はあなたに頼って
こんな目に
遭わせてしまって…!





きっと彼女は
覚えていない

私たちの
...あの前世を

私はここで
ひとりで戦うこと
なっていたでしょね

あなたと一緒に
居られてよかったわ

ま...
ま...

ありがとう...

もしもその時
二人きりだったら

また必ず
ひかれ合い...

お礼に今日より
もっと素敵なことを
教えてあげるわ

そして
巡り会う...

けれども
私たちは

またお会い
できますか？

そうね...

.....



離れていても
現世の流れの中
共に在り続ける限り…

Ave Maris Stella 2

